

令和 5 年 度

専攻科 学生募集要項 入 学 案 内

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

目 次

学 生 募 集 要 項

I. 募集人員	1
II. 入学者の選抜方法	1
推薦による選抜	2
学力による選抜【前期】	5
学力による選抜【後期】	8
企業等の推薦による社会人選抜	12
III. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	14
IV. 入学手続	15
V. その他の注意事項	15
VI. 個人情報の取扱い	15
入 学 案 内	16
九州大学との連携教育プログラム （九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）について	25

添 付 書 類

1. 専攻科入学願書
2. 照合票・受験票・入学検定料「振込受付証明書」提出票
3. 調査書
4. 推薦書（推薦選抜）
5. 志望調書（推薦選抜）
6. 推薦書（企業等の推薦による社会人選抜）
7. 出願承認書（学力による選抜（企業等所属者のみ））
8. あて名票
9. 振込依頼書

令和 5 年 度 久留米工業高等専門学校専攻科 学 生 募 集 要 項

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

久留米高専は次のような人を求めています。

1. 科学技術に対する強い探求心をもち、積極的に取り組む人
2. 専門分野の基礎を修得している人
3. 社会性と倫理観を身につけている人
4. 基礎的なコミュニケーション能力を身につけている人

I. 募 集 人 員

機械・電気システム工学専攻 12名
物質工学専攻 8名 計20名

II. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、高等専門学校長又は学科長の推薦による選抜、学力による選抜（前期・後期）及び企業等の推薦による社会人選抜とし、次の日程で行います。

選 抜 区 分		選 抜 期 日	選 抜 人 数
推 薦 に よ る 選 抜		令和4年5月28日(土)	10名程度
" (追試験)		令和4年6月11日(土)	
学 力 に よ る 選 抜	前 期	令和4年5月28日(土)	10名程度
	後 期	令和4年10月8日(土)	
	追試験	令和4年10月22日(土)	
企業等の推薦による社会人選抜		令和4年10月8日(土)	若 干 名
" (追試験)		令和4年10月22日(土)	

推薦による選抜

学位（学士）申請のため、本校卒業見込以外の受験希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出願資格

令和5年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、成績及び人物が優れていると認められる者

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和4年5月9日(月)から令和4年5月12日(木)まで
- ・時 間 9時から17時まで
- ・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9315
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和4年5月12日（木）17時（必着）とします。

（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受 付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し厳封したもの。
④ 推 薦 書	本校所定の用紙を使用してください。
⑤ 志 望 調 書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。

⑥ 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和4年5月2日（月）から令和4年5月12日（木）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」（学校提出用）、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求書預金口座振替による振替受付書」（コピー可）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 ＜注意＞ 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑦ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手（簡易書留郵便物）を貼付して提出してください。
⑨ TOEIC (TOEIC IP 含む.) スコア	TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。 なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※但しTOEIC IP オンラインテストは除く。
⑩ その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。

※ ③及び④の各様式は本校ホームページ (<https://www.kurume-nct.ac.jp/>) の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を ＝ 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 推薦選抜実施日にTOEICスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選 抜 方 法

調査書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選抜日時及び場所

(1) 日 時：令和4年5月28日(土) 14時開始

(2) 場 所：久留米工業高等専門学校

※ 13時30分までに、本校の指定する場所（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

なお、14時以降の遅刻者は、受験を認めません。

5. 選抜結果の発表

令和4年6月3日(金) 10時

合格者の受験番号を本校内に掲示するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

6. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和4年6月10日(金)17時までに「入学確約書」を学生課教務係へ提出してください。

7. 追試験の実施

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和4年5月28日(土)実施の推薦による選抜検査を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和4年6月11日(土)に追試験を実施します。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録（領収書・薬袋等）を提出してください。

※該当する場合は、本校学生課教務係にご相談願います。

※追試験受験者の選抜結果の通知は、令和4年6月17日(金)に選抜結果の通知書を発送します。

※追試験により合格内定通知を受けた者は、令和4年6月24日(金)までに、「入学確約書」を必ず提出してください。

学力による選抜【前期】

学位（学士）申請のため、本校卒業見込以外の受験希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出 願 資 格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記（1）～（6）の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格（4）～（7）で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出 願 手 続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和4年5月9日(月)～令和4年5月12日(木)まで
- ・時 間 9時から17時まで
- ・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9315
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和4年5月12日（木）17時（必着）とします。
（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受 付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。

③ 調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し厳封したもの。 出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する 修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700時間 以上の専門課程を修了又は見込みであることを 証明する証明書を添付してください。
④ 出願承認書	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成した もの。(企業等所属者のみ)
⑤ 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局(ゆうちょ銀行) に備え付けの「振込依頼書」により 志願者本人の氏名 で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和4年5月2日(月)から令和4年5 月12日(木)までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振 込受付証明書」(学校提出用)、郵便局(ゆうちょ銀行) に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求 書預金口座振替による振込受付書」(コピー可)を入学 検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 ＜注意＞ 1) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、募集要 項に添付されている振込依頼書を使用すること はできません。 2) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、口座か らのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャ ッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局(ゆうちょ銀 行)にお尋ねください。
⑥ あ て 名 票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑦ 受 験 票 送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏 名及び郵便番号を明記し、404円切手(簡易書留郵便物) を貼付して提出してください。
⑧ T O E I C (TOEIC IP 含む) ス コ ア	T O E I Cスコア及びその取得時期を証明する「公式認 定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。 なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施 された試験のスコアを有効とします。 ※T O E I C I P オンラインテストは除く
⑨ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行 する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

※ ③及び④の各様式は本校ホームページ(<https://www.kurume-nct.ac.jp/>)の
入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を
取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 学力検査実施日にTOEICスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選 抜 方 法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専 攻	出 題 分 野 等	配点
専 門	機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻	機械工学系 （機械工学に関連した問題5問から4問選択） 電気電子工学系 （電気電子工学に関連した問題5問から4問選択） 制御情報工学系 （制御情報工学に関連した問題5問から4問選択） ※ 上記3系から1つの系を出願時に選択	100点
	物質工学専攻	生物応用化学系 （生物応用化学に関連した問題5問から4問選択） 材料工学系 （材料工学に関連した問題5問から4問選択） ※ 上記2系から1つの系を出願時に選択	
数 学	各専攻共通	一般数学（確率・統計を除く。）	100点
英 語	各専攻共通	試験は実施せず、TOEICスコアに基づく換算得点を用いる。	100点

※ TOEICスコアは当日持参した原本により確認する。

4. 学力検査の日時・場所

期 日	科目等	時 間	場 所
令和4年 5月28日(土)	専 門	9時10分～10時30分	久留米工業 高等専門学校
	数 学	11時00分～12時00分	

※ 検査当日は、8時40分までに、検査場（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

5. 選抜結果の発表

令和4年6月3日(金) 10時

合格者の受験番号を本校内に掲示するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

6. 追試験の実施

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和4年5月28日(土)実施の学力による選抜検査（前期）を受験できなかった場合は、令和4年10月8日(土)実施の学力による選抜検査（後期）を受験願います。（新たな出願の必要はありません。）

学力による選抜【後期】

学位（学士）申請のため、本校卒業見込以外の受験希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記（1）～（6）の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格（4）～（7）で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和4年9月16日（金）～令和4年9月22日（木）まで
- ・時 間 9時から17時まで
- ・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 （0942）35-9315
（0942）35-9316

※ 郵送の場合も令和4年9月22日（木）17時（必着）とします。
（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受 付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。

③ 調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し厳封したもの。 出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する 修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700時間 以上の専門課程を修了又は見込みであることを 証明する証明書を添付してください。
④ 出願承認書	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成した もの。(企業等所属者のみ)
⑤ 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局(ゆうちょ銀行) に備え付けの「振込依頼書」により 志願者本人の氏名 で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和4年9月12日(月)から令和4年9 月22日(木)までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振 込受付証明書」(学校提出用)、郵便局(ゆうちょ銀行) に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求 書預金口座振替による振込受付書」(コピー可)を入学 検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 ＜注意＞ 1) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、募集要 項に添付されている振込依頼書を使用すること はできません。郵便局(ゆうちょ銀行)専用の 「振込依頼書」に記入が必要です。 2) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、口座か らのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャ ッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局(ゆうちょ銀 行)にお尋ねください。
⑥ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑦ 受験票 送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏 名及び郵便番号を明記し、404円切手(簡易書留郵便物) を貼付して提出してください。
⑧ T O E I C (TOEIC IP 含む。) ス コ ア	T O E I Cスコア及びその取得時期を証明する「公式認 定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。 なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施 された試験のスコアを有効とします。 ※T O E I C I P オンラインテストは除く
⑨ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行 する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

※ ③及び④の各様式は本校ホームページ (<https://www.kurume-nct.ac.jp/>) の
入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を
取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を ＝ 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 学力検査実施日にＴＯＥＩＣスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、ＴＯＥＩＣスコアは選抜期日から２年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

３．選 抜 方 法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専 攻	出 題 分 野 等	配点
専 門	機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻	機械工学系 （機械工学に関連した問題５問から４問選択） 電気電子工学系 （電気電子工学に関連した問題５問から４問選択） 制御情報工学系 （制御情報工学に関連した問題５問から４問選択） ※ 上記３系から１つの系を出願時に選択	100点
	物質工学専攻	生物応用化学系 （生物応用化学に関連した問題５問から４問選択） 材料工学系 （材料工学に関連した問題５問から４問選択） ※ 上記２系から１つの系を出願時に選択	
数 学	各 専 攻 共 通	一般数学（確率・統計を除く。）	100点
英 語	各 専 攻 共 通	試験は実施せず、ＴＯＥＩＣスコアに基づく換算得点を用いる。	100点

※ ＴＯＥＩＣスコアは当日持参した原本により確認する。

４．学力検査の日時・場所

期 日	科目等	時 間	場 所
令和４年 10月８日(土)	専 門	９時10分～10時30分	久留米工業 高等専門学校
	数 学	11時00分～12時00分	

※ 検査当日は、８時40分までに、検査場（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

５．選抜結果の発表

令和４年10月14日(金) 10時

合格者の受験番号を本校内に掲示するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

6. 追試験の実施

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和4年10月8日(土)実施の学力による選抜検査(後期)を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和4年10月22日(土)に追試験を実施します。

ア 施行規則第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録(領収書・薬袋等)を提出してください。

※該当する場合は、本校学生課教務係にご相談願います。

※追試験受験者の選抜結果の通知は、令和4年10月28日(金)に選抜結果の通知書を発送します。

企業等の推薦による社会人選抜

学位（学士）申請のため、受験希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話などにより照会してください。

1. 出 願 資 格

学力検査による選抜の出願資格(P. 5 参照)のいずれかに該当する者で、企業等の所属の長が勤務成績、人物ともに優れていると認め推薦する者

2. 出 願 手 続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和4年9月16日(金)～令和4年9月22日(木)まで
- ・時 間 9時から17時まで
- ・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9315
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和4年9月22日(木)17時(必着)とします。
(受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。)

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受 付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 卒業証明書	出身学校長が作成したもの。
④ 成績証明書	出身学校長が作成し厳封したもの。
⑤ 推 薦 書 (企業等所属者)	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。
⑥ 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により 志願者本人の氏名 で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和4年9月12日(月)から令和4年9月22日(木)までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」(学校提出用)、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求

	書預金口座振替による振込受付書」(コピー可)を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 <注意> 1) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。郵便局(ゆうちょ銀行)専用の「振込依頼書」に記入が必要です。 2) 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局(ゆうちょ銀行)にお尋ねください。
⑦ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手(簡易書留郵便物)を貼付して提出してください。
⑨ TOEIC (TOEIC IP 含む) スコア	TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。 なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※TOEIC IP オンラインテストは除く
⑩ その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

※ ⑤の様式は本校ホームページ(<https://www.kurume-nct.ac.jp>)の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 社会人選抜実施日にTOEICスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選 抜 方 法

成績証明書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選抜日時及び場所

- (1) 日 時：令和4年10月8日(土) 14時開始
- (2) 場 所：久留米工業高等専門学校

※ 13時30分までに、本校の指定する場所(当日、学生課前に掲示する予定)に集合してください。

なお、14時以降の遅刻者は、受験を認めません。

5. 選抜結果の発表

令和4年10月14日(金) 10時

合格者の受験番号を本校内に掲示するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

(電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じない。)

6. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和4年10月21日(金)17時までに「入学確約書」を学生課教務係へ提出してください。

7. 追試験の実施

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和4年10月8日(土)実施の企業等の推薦による社会人選抜検査を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和4年10月22日(土)に追試験を実施します。

ア 施行規則第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録(領収書・薬袋等)を提出してください。

※該当する場合は、本校学生課教務係にご相談願います。

※追試験受験者の選抜結果の通知は、令和4年10月28日(金)に選抜結果の通知書を発送します。

III. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

久留米工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに久留米高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和4年4月12日(推薦による選抜及び学力による選抜【前期】の場合)または令和4年8月22日(学力による選抜【後期】及び企業等の推薦による社会人選抜の場合)を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生、学生の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。
ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 (担当係名) 学生課教務係 (電話番号) 0942-35-9316
(FAX) 0942-35-9319 (MAIL) AA-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp

IV. 入学手続

合格者は、令和5年3月20日(月) 10時に出校し、入学に要する諸手続を行ってください。

なお、当日入学手続を行わない者は、入学を許可しません。

V. その他の注意事項

- 1 入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、直ちに、本校学生課教務係に届け出てください。
- 2 選抜当日「受験票」を必ず携行してください。
- 3 受験のための宿舎は斡旋しないので、各自で手配してください。

VI. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学料、授業料の免除申請の審査
- 3 奨学金申請の審査
- 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

久留米工業高等専門学校専攻科 入学案内

1. 専攻科の目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授し、もって、広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とします。

2. 設 置

平成 5 年 4 月

3. 専 攻 名

機械・電気システム工学専攻
物質工学専攻

4. 修業年限及び修了要件

(1) 修 業 年 限 2 年

(2) 修 了 要 件 学則に従い63単位以上修得
※修了要件の単位数については今後62単位に変更する場合があります。

5. 専攻科の教育目的

次のような実践的、創造的技術者を育成する。

- (1) 先端技術及び高度情報化に対応できる技術者
- (2) 創造的研究開発能力を持った技術者
- (3) 国際化に対応できる技術者

6. 教 育 課 程

専攻科の単位を修得し修了するには、機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻の各系（以下「コース」という。）のいずれかを履修しなければなりません。機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻で履修するコースは以下のとおりです。

機械・電気システム工学専攻：機械工学コース、電気電子工学コース、制御情報工学コース

物質工学専攻：生物応用化学コース、材料工学コース

掲載する授業科目は、令和3年度の教育課程であり、今後、一部変更する場合があります。これらの履修するコースで所定の単位を修得して専攻科を修了すれば、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与されます。

(1) 一般科目及び専門基礎科目（各専攻共通）

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学期別配当		備 考
					1 年次	2 年次	
一 般 科 目	必修	実 践 英 語 I	講義	2	2		
		実 践 英 語 II	講義	2	2		
		実 践 英 語 III	講義	2		2	
	一 般 科 目 必 修 単 位 計			6	4	2	
	選択 択	日本語コミュニケーション	講義	2		2	} 2 単位以上修得
		生涯スポーツ特論	講義	2		2	
		産業財産権特論	講義	2	2		
		専攻科特論一般Ⅰ	講義 又は 演習	2	2		4 単位以内
		専攻科特論一般Ⅱ	講義 又は 演習	2		2	
	一 般 科 目 選 択 開 設 単 位 計			10	4	6	
専 門 基 礎 科 目	必修	地球環境と現代生物学	講義	2	2		
		現 代 物 理 学	講義	2	2		
		応用情報処理演習	演習	2	2		
		専門基礎科目必修単位小計			6	6	0
	選択 択	応 用 数 理 I	講義	2	2		} 10 単位以上修得
		応 用 数 理 II	講義	2	2		
		応 用 数 理 III	講義	2		2	
		量 子 力 学	講義	2	2		
		物 性 化 学	講義	2	2		
		画 像 工 学	講義	2	2		
		応 用 情 報 処 理	講義	2	2		
		統計力学及び熱力学	講義	2		2	
		専攻科特論専門Ⅰ	講義	2		2	4 単位以内
		専攻科特論専門Ⅱ	講義	2		2	
専門基礎科目選択開設単位小計			20	12	8		
専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 計			26	18	8		
一般科目、専門基礎科目開設単位合計			42	26	16		

(2) 専門科目（機械・電気システム工学専攻）

機械工学コース

授 業 科 目			授 業 形 態	単 位 数	学 年 別 配 当		備 考
					1 年 次	2 年 次	
専 門 科 目	必 修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2		
		技 術 英 語	演習	1		1	
		先 端 工 学 特 論	演習	1	1		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	5	5		
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	1 0		1 0	学修総まとめ科目
		専 門 科 目 必 修 単 位	小 計	1 9	8	1 1	
	選 択	弾 塑 性 力 学	講義	2	2		1 4 単 位 以 上 修 得
		破 壊 力 学	講義	2	2		
		応 用 流 動 工 学	講義	2	2		
		生 産 加 工 学	講義	2		2	
		移 動 現 象 論	講義	2	2		
		計 算 力 学	講義	2		2	
		設 計 シ ス テ ム 工 学	講義	2	2		
		メカトロニクス工学	講義	2		2	
		シ ス テ ム 制 御 工 学	講義	2	2		
		デ ジ タ ル 制 御	講義	2	2		
		ト ラ イ ボ ロ ジ ー 解 析 学	講義	2		2	
		機 械 工 学 特 論	講義	2	2		
		電 気 電 子 工 学 特 論	講義	2	2		
		制 御 情 報 工 学 特 論	講義	2	2		
		専攻科インターンシップ	実習	2	2		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位	小 計	3 0	2 2	8	
		専 門 科 目 開 設 単 位	小 計	4 9	3 0	1 9	
	全 開 設 単 位 合 計（一般科目、専門基礎科目を含む。）			9 1	5 6	3 5	
	全 科 目 修 得 単 位 合 計（一般科目、専門基礎科目を含む。）				6 3 単 位 以 上		

機械工学コースの学習・教育到達目標

- (A) 広い視野から技術者倫理を理解し自覚できる。
 - (A-1) 技術者倫理を広い視野から多面的に考えることができる。
 - (A-2) 技術者倫理に対しその責任を理解できる。
 - (A-3) 技術者倫理に対しその責任を自覚できる。
- (B) 数学、物理、情報処理に関する知識を専門分野に応用できる。
 - (B-1) 数学に関する知識とその工学的応用力
 - (B-2) 物理に関する知識とその工学的応用力
 - (B-3) 情報処理に関する知識とその工学的応用力
- (C) 機械工学に関する以下の専門知識を教授し、職業上応用できる基礎能力を学生の進路に配慮し育成する。
 - (C-1) 材料と強度
 - (C-2) 機械設計
 - (C-3) 生産工学
 - (C-4) 熱・流体工学
 - (C-5) 制御・情報技術
- (D) 実験・演習を実施し、その結果を工学的に解析し考察できる。
 - (D-1) 機械工学を学ぶ上で必要な各種の機械や機器の操作ができる。
 - (D-2) 実験・演習の結果を工学的に解析し考察できる。
- (E) 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施できる。
- (F) 種々の工学的知識や技術を利用し、自己学習やグループ学習により社会の要求を解決できる。
- (G) 専門技術に関するプレゼンテーションと国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションができる。
 - (G-1) 専門技術に関するプレゼンテーションができる。
 - (G-2) 国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションができる。
- (H) 与えられた条件のもとで技術者として地域社会に貢献できる。

電気電子工学コース

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学年別配当		備 考
					1 年次	2 年次	
専 門 科 目	必 修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2		学修総まとめ科目
		技 術 英 語	演習	1		1	
		先 端 工 学 特 論	演習	1	1		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	5	5		
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	1 0		1 0	
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		1 9	8	1 1	
	選 択	設 計 シ ス テ ム 工 学	講義	2	2		1 4 単位以上修得
		メカトロニクス工学	講義	2		2	
		シ ス テ ム 制 御 工 学	講義	2	2		
		デ ジ タ ル 制 御	講義	2	2		
		形式言語とオートマトン	講義	2	2		
		コ ン ピ ュ ー タ サ イ エ ン ス	講義	2		2	
		応 用 電 磁 気 学	講義	2	2		
		光エレクトロニクス	講義	2		2	
		集 積 回 路 工 学	講義	2	2		
		デ ジ タ ル 信 号 処 理	講義	2	2		
		プ ラ ズ マ 工 学	講義	2		2	
		機 械 工 学 特 論	講義	2	2		
		電 気 電 子 工 学 特 論	講義	2	2		
		制 御 情 報 工 学 特 論	講義	2	2		
		専攻科インターンシップ	実習	2	2		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計		3 0	2 2	8	
	専 門 科 目 開 設 単 位 計			4 9	3 0	1 9	
全 開 設 単 位 合 計 (一般科目、専門基礎科目を含む。)				9 1	5 6	3 5	
全 科 目 修 得 単 位 合 計 (一般科目、専門基礎科目を含む。)				6 3 単位以上			

電気電子工学コースの学習・教育到達目標

- (A) 先端の電気エネルギーをマネジメントできる電気電子技術の習得
 - (A-1) 電気エネルギーの発生やその制御のしくみを理解し説明できる。
 - (A-2) 電気エネルギーに関する専門的知識、技術を設計に応用できる。
- (B) 先端の情報通信・電子機器を活用できる電気電子技術の習得
 - (B-1) ICT電子機器のしくみを理解し説明できる。
 - (B-2) ICT電子機器に関する知識、技術を設計に応用できる。
- (C) もの、製品をベースにした技術実務能力の習得
 - (C-1) 電力、電気、電子機器に関する実験を計画、遂行できる。
 - (C-2) 実験データを解析、考察し説明できる。
 - (C-3) 共同で実験・演習を遂行できる。
- (D) 電気電子技術の基礎となる学力の修得
 - (D-1) 数学、物理などの自然科学や情報技術に関する基礎事項を説明できる。
 - (D-2) 自然科学や情報技術に関する基礎事項を電気電子技術の専門領域で適用できる。
- (E) 技術に関するコミュニケーション能力の育成
 - (E-1) わかりやすく論理的に情報や意見を文書や口頭で伝達できる。
 - (E-2) 英語により電気電子技術に関する基本的なコミュニケーションができる。
- (F) 技術者倫理感覚の育成
 - (F-1) 技術が地域社会や国際社会あるいは自然環境に及ぼす影響、効果を理解できる。
 - (F-2) 規格、品質、安全性等に関する技術者の責任を説明できる。
- (G) 企画・管理能力の育成
 - (G-1) 産業や社会との連携活動や実験・実習の中から技術的な課題を見出すことができる。
 - (G-2) 技術的な課題を解決するための計画を立案し遂行できる。

制御情報工学コース

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学年別配当		備 考
					1 年 次	2 年 次	
専 門 科 目	必修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2		
		技 術 英 語	演習	1		1	
		先 端 工 学 特 論	演習	1	1		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	5	5		
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	1 0		1 0	学修総まとめ科目
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		1 9	8	1 1	
	選択	計 算 力 学	講義	2		2	} 1 4 単位以上修得
		メカトロニクス工学	講義	2		2	
		シ ス テ ム 制 御 工 学	講義	2	2		
		デ ジ タ ル 制 御	講義	2	2		
		コンピュータグラフィックス	講義	2		2	
		パ タ ー ン 認 識	講義	2		2	
		形式言語とオートマトン	講義	2	2		
		デ ー タ ベ ー ス	講義	2	2		
		コンピュータサイエンス	講義	2		2	
		応 用 電 磁 気 学	講義	2	2		
		デジタル信号処理	講義	2	2		
		機 械 工 学 特 論	講義 中義	2	2		
		電 気 電 子 工 学 特 論	講義 中義	2	2		
		制 御 情 報 工 学 特 論	講義 中義	2	2		
		専攻科インターンシップ	実習	2	2		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計		3 0	2 0	1 0	
	専 門 科 目 開 設 単 位 計				4 9	2 8	2 1
全開設単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）				9 1	5 4	3 7	
全科目修得単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）				6 3 単位以上			

制御情報工学コースの学習・教育到達目標

- (A) 技術者としての広い視野と倫理観
 - (A-1) 豊かな心を持ち、広い視野で物事を捉えることができる。
 - (A-2) 技術者としての倫理観を持ち、技術が社会、自然環境に及ぼす効果や影響を理解できる。
- (B) 基礎工学の知識と応用力
 - (B-1) 数学、自然科学、情報に関する知識を持ち、基礎的な工学問題の解決に応用できる。
 - (B-2) 制御、情報工学専門周辺の基礎工学に関する知識を持ち、基礎的な工学問題の解決に活用できる。
- (C) 専門工学の知識と応用力
 - (C-1) 制御、情報およびこれらに関連した機械、電気電子分野の専門知識を持ち、工学問題の解決に応用できる。
 - (C-2) 各専門分野の知識、技術を複合的に関連づけることができる。
 - (C-3) 上記の分野の基礎的な知識・技術をもとに実験し、分析、考察することができる。
- (D) デザイン力
 - 学んだ知識や技術をベースにして社会の要求に対する解決法を立案し、実現までの手順を計画することができる。
- (E) コミュニケーション力
 - (E-1) 日本語での自己の考えや知識を的確に表現し、議論することができる。
 - (E-2) 英語による基礎的なコミュニケーションができる。
- (F) 実践力
 - (F-1) 他者と協力して課題に取り組むことができる。
 - (F-2) 自ら学んで、必要な知識や情報を獲得し、継続的に学習できる。
 - (F-3) 与えられた課題に対して、計画的に作業を進め、期限内にまとめることができる。

(3) 専門科目（物質工学専攻）

生物応用化学コース

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学年別配当		備 考
					1 年次	2 年次	
専 門 科 目	必修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2		
		技 術 英 語	演習	1		1	
		先 端 工 学 特 論	演習	1	1		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	5	5		
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	1 0		1 0	学修総まとめ科目
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		1 9	8	1 1	
	選択	有 機 反 応 化 学	講義	2	2		1 4 単位以上修得
		有 機 構 造 化 学	講義	2		2	
		生 体 機 能 分 子 学	講義	2	2		
		生 体 物 質 化 学	講義	2	2		
		化 学 工 学 特 論	講義	2		2	
		機 能 有 機 材 料 特 論	講義	2	2		
		分 子 生 物 学	講義	2		2	
		分 子 機 能 化 学	講義	2		2	
		高 分 子 材 料 特 論	講義	2	2		
		応 用 物 理 化 学	講義	2		2	
		機 能 性 無 機 材 料 学	講義	2	2		
		生 物 応 用 化 学 特 論	集中講義	2	2		
		材 料 工 学 特 論	集中講義	2	2		
		専攻科インターンシップ	実習	2	2		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計		2 8	1 8	1 0	
	専 門 科 目 開 設 単 位 計			4 7	2 6	2 1	
全開設単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）			8 9	5 2	3 7		
全科目修得単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）			6 3 単位以上				

生物応用化学コースの学習・教育到達目標

- (A) 技術者倫理と多面的視野
 - (A-1) 技術者として必要な倫理観を身に付け、管理能力、社会に対する説明責任能力を習得する。
 - (A-2) 地球的規模で環境を考え技術をデザインする能力を習得する。
- (B) 生物応用化学基礎と工学基礎
 - (B-1) 生物および化学に関する基礎知識を習得する。
 - (B-2) 物理、数学および情報技術を工学に応用できる。
- (C) 生物応用化学の専門知識と応用力
 - (C-1) 生物化学もしくは応用化学に必要な専門知識および両分野に共通して必要な専門知識を習得し、それらを当該工業分野に応用することができる。
 - (C-2) 生物化学もしくは応用化学に必要な実験技術および両分野に共通して必要な実験技術を体得し、それらを種々の問題解決に応用することができる。
- (D) 生物応用化学基礎、工学基礎、生物応用化学の専門知識を活用し、社会の要求を解決するための企画力を持っている。
- (E) 国際化に対応できるコミュニケーション基礎能力を習得する。
- (F) 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施することができる。
- (G) 地域社会を中心とした産業界に技術者として広く貢献できる。

材料工学コース

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学年別配当		備 考
					1 年 次	2 年 次	
専 門 科 目	必修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2		学修総まとめ科目
		技 術 英 語	演習	1		1	
		先 端 工 学 特 論	演習	1	1		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	5	5		
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	1 0		1 0	
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		1 9	8	1 1	
	選択	分 子 機 能 化 学	講義	2		2	1 4 単位以上修得
		高 分 子 材 料 特 論	講義	2	2		
		応 用 物 理 化 学	講義	2		2	
		機 能 性 無 機 材 料 学	講義	2	2		
		半 導 体 材 料	講義	2	2		
		材 料 組 織 制 御	講義	2		2	
		構 造 材 料 学	講義	2	2		
		触 媒 材 料 化 学	講義	2	2		
		材 料 強 度 学	講義	2	2		
		表 面 処 理 工 学	講義	2	2		
		高 温 強 度 学	講義	2		2	
		生 物 応 用 化 学 特 論	講義 集中義	2	2		
		材 料 工 学 特 論	講義 集中義	2	2		
		専攻科インターンシップ	実習	2	2		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計		2 8	2 0	8	
	専 門 科 目 開 設 単 位 計				4 7	2 8	1 9
全開設単位合計 (一般科目、専門基礎科目を含む。)				8 9	5 4	3 5	
全科目修得単位合計 (一般科目、専門基礎科目を含む。)				6 3 単位以上			

材料工学コースの学習・教育到達目標

- (A) 自然科学および情報処理技術に関する知識
 - (A-1) 数学、物理、化学などの自然科学に関する基礎知識を持ちその応用ができる。
 - (A-2) 情報処理に関する知識や技術を専門分野に適応できる。
- (B) 材料に関する基本的知識と応用力
 - (B-1) 材料、特に金属およびセラミックス材料の物性、構造、性質についての基礎知識を身に付けている。
 - (B-2) 材料、特に金属およびセラミックス材料の製造プロセスについての基礎知識を身に付けている。
 - (B-3) これらの知識を工学問題の解決に活用できる。
- (C) 工学的基礎原理・現象の理解能力
 - (C-1) 工学的な基礎原理・現象を実験によって理解できる。
- (D) 調査および実行能力
 - (D-1) 課題に対して自主的に調査できる。
 - (D-2) 計画性を持って物事に取組み、実行できる。
 - (D-3) 課題の結果を間違いの少ない文章および口頭で表現し、討論できる。
- (E) 異文化理解とコミュニケーション能力
 - (E-1) 英語により材料工学に関する基本的コミュニケーションができる。
- (F) 多面的視野と技術者倫理
 - (F-1) 技術の人間社会や自然環境への関わりを理解し、グローバルに物事を考えることができる。
 - (F-2) 技術者の社会的責任を自覚することができる。
- (G) 地域産業での実務経験
 - (G-1) インターンシップなどの実務経験を通して、多面的に物事を考えることができる。

7. 「学士」の学位取得

本校専攻科は、平成26年度入学生から学士の学位授与に係る特例の適用認定を受けた認定専攻科であるため、専攻科修了と所定の手続きにより、修了時に学士の学位を取得することができます。

ただし、この特例の適用は、本校準学士課程を平成25年度以降に卒業し、本校専攻科を修了することを前提としているため、それ以外の場合は取得手続きが異なる可能性があります。

8. 入学時に要する経費

費 目	金 額	摘 要
入 学 料	84,600円	(予定額)
授 業 料	117,300円	(年額234,600円)(予定額)
教 科 書 代 等	約 30,000円	
そ の 他 校 納 金	約 33,000円	
合 計	約 264,900円	

※ 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

9. 高等教育の修学支援制度

令和2年4月1日から、高専の4・5年生及び専攻科生が対象となる授業料等減免制度の新設及び給付型奨学金の支給拡充が実施されています。詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」を参照願います。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

10. 入学料及び授業料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合には、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。
- (2) 授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等は、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

11. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。

貸 与 金 額

(1) 第一種奨学金（無利息貸与）

区 分	1 年
自 宅	45,000円、30,000円又は20,000円
自 宅 外	51,000円、40,000円、30,000円又は20,000円

(2) 第二種奨学金（利息付貸与）

20,000円から120,000円までの間で10,000円単位で額を選択できます。

12. 学生寮

本校敷地内に寄宿舍があります。

男子寮（4階建）は、1室1名用、2名用と3名用あわせて141室、収容定員は210名です。また、女子寮（3階建）は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員30名です。ただし、専攻科生は原則として1名部屋となります。

入寮希望者は、選考の上、許可します。

費 用	月 額	摘 要
寄 宿 料	800円 700円	1名部屋 1名部屋以外
給 食 費	約 30,000円	朝・昼・夕食付
光 熱 水 料 費 等	8,000円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 38,800円	

※ 上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

※ 上記の納付金額は、入寮時及び在寮中に改定される場合があります。

九州大学との連携教育プログラム（九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム）について

久留米工業高等専門学校専攻科に入学する学生を対象に、九州大学工学部融合基礎工学科と本校専攻科にて修学する履修プログラム（九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム）を実施します。

本連携教育プログラムでは、本校専攻科と九州大学の双方に在籍し、双方の教育課程（連携教育プログラム用）を受講します。

プログラム所定の課程を修了した者には、九州大学から「学士（工学）」の学位、並びに本校専攻科から修了証書が授与されます。

令和5年度 久留米工業高等専門学校

専攻科入学願書

志望専攻名	工学専攻				受験番号	※
選抜の区分	1	推薦による選抜	2	学力による選抜	3	企業等の推薦による選抜
学力検査専門科目の出題分野			(学力選抜を志望する者は、受験する系を必ず記入してください。)			TOEICスコア
			系			
志 願 者	ふりがな				男・女	生年月日 平成 年 月 日生
	氏 名					
	現 住 所	〒 電話番号 — —				
	在 籍 又は 卒業学校	所在地 〒 学校 学科 (年 月 卒業・卒業見込) 電話番号 — —				
	卒業後の 学歴及び 職 歴	自 年 月 日 至 年 月 日				
	自 年 月 日 至 年 月 日					
	自 年 月 日 至 年 月 日					
選 抜 結 果 通 知 書 等 受 信 場 所	〒 電話番号 — —					

記入上の注意

- ※印の欄は記入しないこと。その他の欄は志願者が洩れなく記入してください。
- 正確に楷書で青または黒インク、黒ボールペンで記入してください。
- 「選抜の区分」の欄は、受験する選抜区分の番号を○で囲んでください。
- 「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、学力選抜を志願する者のみ、P.7及びP.10の出題分野等から選択して記入してください。(推薦選抜及び企業等の推薦による社会人選抜の受験生は不要) また、受験票と照合票も同様に受験する専門科目の出題分野を記入してください。
- 推薦による選抜、学力による選抜ともに、TOEICスコアを必ず記入してください。
- TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。

照 合 票

令和5年度 専 攻 科

受験番号※	
志 望 専 攻 名	工学専攻
ふりがな	
氏 名	
生年月日	平成 年 月 日
学力検査 専門科目 の出題分野	系

写 真

縦 4cm
横 3cm

上半身脱帽正面向きで
出願以前3か月以内に
撮影したものを貼付。

※「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、
入学願書に記入した出題分野を記入してく
ださい。(推薦選抜及び企業等の推薦による
社会人選抜の受験生は不要)

※印の欄は記入しないでください。

受 験 票

令和5年度 専 攻 科

受験番号※	
志 望 専 攻 名	工学専攻
ふりがな	
氏 名	
学力検査 専門科目 の出題分野	系

〔試験日時〕

推薦選抜 5月28日(土)14時から
学力選抜(前期) 5月28日(土)9時10分から
学力選抜(後期) 10月8日(土)9時10分から
社会人選抜 10月8日(土)14時から

※集合時間、場所については、各選抜試験の頁
で確認してください。
※携帯電話等は、検査室へは持ち込めません。
※「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、
入学願書に記入した出題分野を記入して
ください。(推薦選抜及び企業等の推薦に
よる社会人選抜の受験生は不要)

※印の欄は記入しないでください。

入学検定料「振込受付証明書」提出票

受験番号※	
氏 名	

本校指定の振込依頼書を使用し、銀行
受付印のある振込受付証明書(学校提
出用)は、裏面全体にのりをつけて貼
付してください。また、郵便局(ゆう
ちょ銀行)の振込依頼書を使用した場
合は、振替払出請求書預金口座振替に
よる振込受付書(コピー可)を二つ折り
等にし、枠内に貼付してください。

※印の欄は記入しないでください。

受験上の注意

- 1 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- 2 TOEICスコア確認のため、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を持参してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
- 3 学力による選抜において、遅刻による検査室への入室限度時刻は、検査開始後30分です。なお、交通機関の事故又は止むを得ない事由により、検査開始後30分以上遅刻した者は、必ず検査場の本部へ申し出てください。
- 4 携帯電話等は、検査室へは持ち込めません。

令和 5 年度 専攻科入学志願者 調 査 書

		志望専攻名		工学専攻			受験番号		※	
ふりがな				学 校 名		国立 公立 私立		学校 学科		
氏 名				学 科 名						
生年月日		平成 年 月 日生		年 月		入学・編入学・転入学				
性 別		男 ・ 女		年 月		卒業・卒業見込み				
成 績 証 明 書		在籍又は卒業学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成したものを同封の上、厳封してください。 (成績の評定基準を右表に明示する。)		評 定 基 準	評定の区分		点 数 の 範 囲			
							点～ 点			
							点～ 点			
							点～ 点			
							点～ 点			
						点以下				
在 学 中 の 状 況	学 業	*		学 科 内 席 次	3 年	人 中	位	平 均 点	3 年	点
					4 年	人 中	位		4 年	点
					5 年	人 中	位		5 年	点
	人 物	*								
	課 外 活 動	*								
	生 活 態 度 等	*		学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
				欠席日数						
				休 学	～ (理由：)					
所 見	*									
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長名 印										

(注) 裏面の記入上の注意をよく読んで記入してください。

【 記入上の注意 】

1. ※印欄は記入しないでください。
2. 卒業見込者の成績証明書には、最終学年で履修する科目は評価欄に○印で明示してください。
3. 平均点は小数点以下第1位を四捨五入してください。
4. ＊印欄は、久留米高専から出願する者については記入を要しません。

受験番号	※
------	---

令和 5 年度 専攻科入学志願者

推 薦 書

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長又は学科長名 印

下記の者は、 工学専攻への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

氏 名

生年月日 平成 年 月 日生

学 科 名

志 望 専 攻 対 して の 適 性 に 性	
専 攻 を 志 望 す る 動 機 ・ 理 由	
そ の 参 考 の 事 項 他	

令和5年度 久留米工業高等専門学校専攻科入学志願者

志 望 調 書

志 望 専攻名	工学専攻	氏 名		受験 番号	※
1. 志望の動機					
2. 将来の目標（専攻科修了後の希望）					
3. 卒業研究					
研 究 題 目					
研究の概要					

※	

※の欄は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

令和 5 年度 専攻科入学志願者

推 薦 書
(企業等所属者)

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

(勤務先・所属長 印)

下記の者は、 工学専攻への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

氏 名

生年月日 平成 年 月 日生

所 属

人 物	
勤 務 態 度	
対 志 望 専 攻 に す る 適 性	
専 攻 を 志 望 す る 動 機 ・ 理 由	
そ の 参 考 事 項 他	

受験番号	※
------	---

令和5年度 専攻科入学志願者

出 願 承 認 書

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

(勤務先・所属長 印)

下記の者が、貴校の専攻科入学者選抜に出願することを承認いたします。

記

出願者氏名

生 年 月 日 平成 年 月 日生

所 属

あて名票

選抜結果通知用

(志願者の住所・氏名)

<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>—</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table>	□	□	□	—	□	□	□	□	様
□	□	□	—	□	□	□	□		
	※								

入学書類送付用

(志願者の住所・氏名)

<table border="1"><tr><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>—</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr></table>	□	□	□	—	□	□	□	□	様
□	□	□	—	□	□	□	□		
	※								

1. このあて名票は、それぞれのあて先となるので、番地まで楷書で正確に記入してください。
2. 団地などに住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と明記してください。
3. 必ず2枚とも記入してください。
4. ※印欄は、記入しないでください。
5. 「様」は、そのまま修正などはしないでください。

入学検定料の振込について

令和5年度久留米工業高等学校入学者選抜の検定料については、郵便局（ゆうちょ銀行）以外の銀行から振込を行う場合、添付の本校指定の振込依頼書をご利用くださいますようお願い申し上げます。また、郵便局（ゆうちょ銀行）から振込を行う場合は、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」をご使用ください。

なお、振込の際には別途手数料が必要となりますのでご注意ください。

- 1. 検定料の振込は金融機関窓口にてお願いいたします。
- 2. 金融機関の収納印をもって本校の受領証書に代えさせていただきます。
- 3. 振込の手続きは出願に必要な書類等を持参又は郵送する前に必ず行ってください。
- 4. 振込金領収証書は、必要により確認することがありますので、大切に保管してください。
- 5. 本校指定の振込受付証明書（学校提出用）又は郵便局（ゆうちょ銀行）の振替払出請求書預金口座振替による振替受付書（コピー可）は、別添の入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。
- 6. 金融機関によっては、窓口営業時間が異なりますので十分にご注意ください。
- 7. 受取人口座名の「高専機構本部」は略称であり、郵便局（ゆうちょ銀行）から振込を行う場合は、「独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役」と記入願います。

試験日	振込期間
5月28日(土)	令和4年5月2日(月) ~ 令和4年5月12日(木)
10月8日(土)	令和4年9月12日(月) ~ 令和3年9月22日(木)

振込受付証明書（学校提出用）

依頼日	年	月	日
金額	¥ 16,500 -		
振込先	福岡銀行 久留米営業部		
受取人	高専機構本部		
志願者氏名			

上記の金額正に受取りました。 (取扱店)	銀行	支店
	収納印	

振込金領収証書（本人保存）

依頼日	年	月	日
金額	¥ 16,500 -		
振込先	福岡銀行 久留米営業部		
受取人	高専機構本部		
志願者氏名			

上記の金額正に受取りました。 (取扱店)	銀行	支店
	収納印	

電信扱

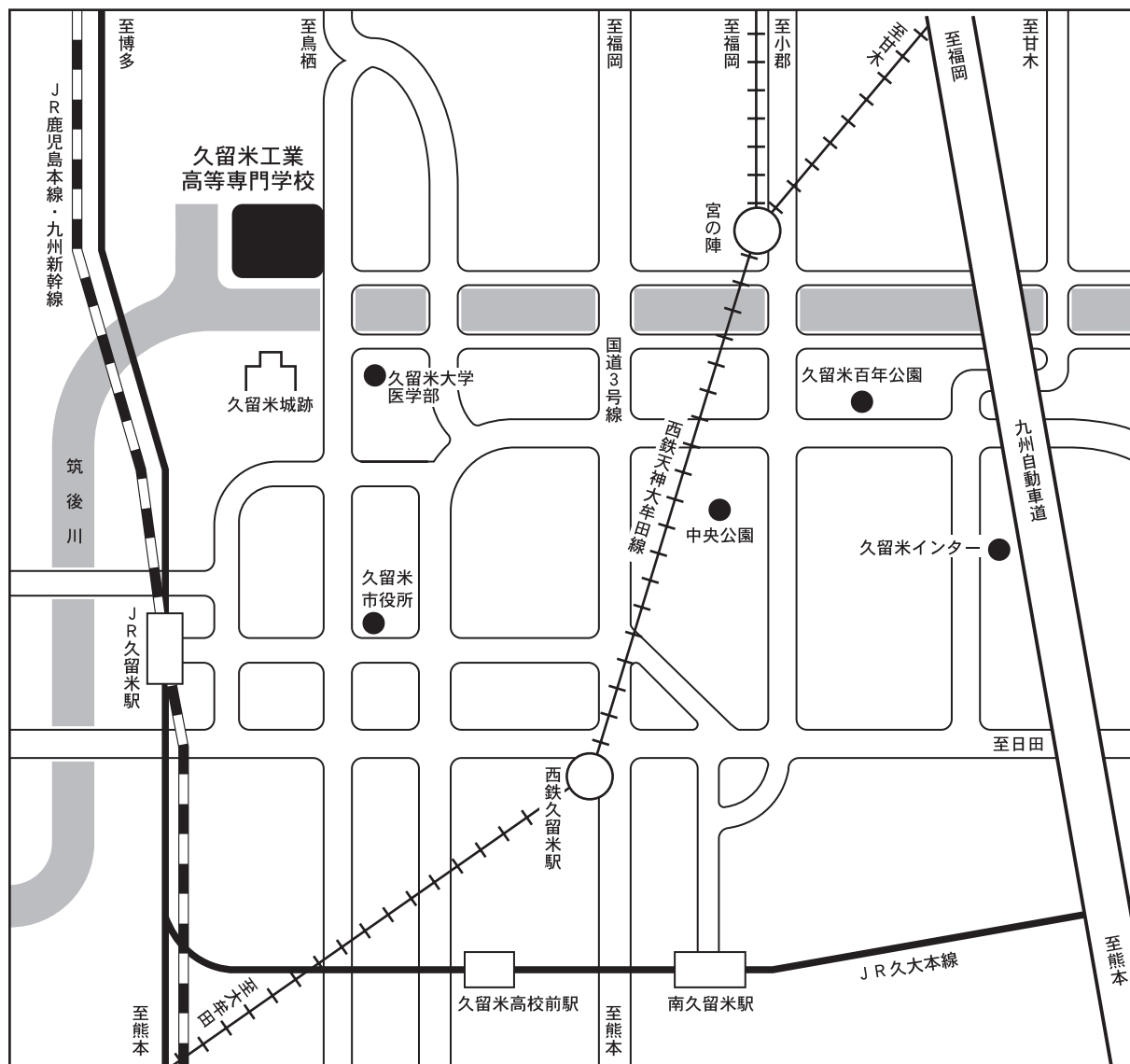
取扱銀行へ
お願い

- ・本指定用紙以外の使用は出来ません。
 - ・自動振込機での振込は出来ません。
- (銀行で切り離してください)

振込依頼書（取扱店保存）

依頼日	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	福岡銀行 久留米営業部			金額	¥ 16,500 -		
振込先	普通 2638356			現金			
受取人口座名	コウセンキコウホンブ			当手			
志願者氏名	高専機構本部			他手			
住所	(フリガナ)			収納印又は振替印			
ご依頼人	〒			電話番号	-		

志願者氏名を必ず打電してください。



受験に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒830-8555
福岡県久留米市小森野一丁目1番1号

電 話 0942-35-9315
0942-35-9316 (学生課直通)

FAX 0942-35-9319

<https://www.kurume-nct.ac.jp/>